

山頂彩る薄紫

カタクリ登山

比婆道後帝釈国定公園内にある船通山(標高一、一四二)の山頂に自生するカタクリの群生が見ごろを迎え、四月二十九日、恒例のカタクリ登山が行われました。



山頂に咲き誇るカタクリを楽しむ登山者

この日は、保全活動に取り組んでいる横田山の会による自然観察会やカタクリの生態を紹介する紙芝居、県自然保護レンジャーなどによる採取防止を訴えるチラシが配布されました。

しい花で、春風に揺れるカタクリや大山や日本海、隠岐の眺望を楽しんでいました。

各地区の自治会長会 会長決まる

- 布勢地区 渡部 雅男 (馬馳下)
 - 三成地区 長谷川 重夫 (上三成中)
 - 亀高地区 三澤 又三郎 (亀高町)
 - 阿井地区 伊藤 勝年 (小寄)
 - 三沢地区 田部 隆義 (上鴨倉)
 - 鳥上地区 嵐谷 勝義 (日向側)
 - 横田地区 岩佐 捷治 (大市)
 - 八川地区 石原 吉徳 (雨川)
 - 馬木地区 吉川 光則 (大馬木第一本郷)
- なお、自治会長会連合会の会長、副会長については、今月下旬に決定する予定です。

6月1日は人権擁護委員の日です

人権擁護委員は、地域の中で人権思想を広め、住民の皆さんの人権が侵害されないようにするために、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。全国人権擁護委員連合会では、人権擁護委員法が施行された日(昭和24年6月1日)を記念して、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心にさまざまな活動をし、人権尊重の啓発に努めています。奥出雲町長が推薦し、法務大臣から委嘱された奥出雲町の人権擁護委員は、次の方々です。

- | | |
|----------|----------|
| 三沢 高橋 正美 | 八川 田部 亨 |
| 三沢 吉川 忠夫 | 横田 尾崎 幹雄 |
| 亀高 千原 真里 | 横田 藤原多加子 |

特設人権相談所を開設します

日時：6月1日(月)午前10時～午後3時
会場：カルチャープラザ仁多 1階和室
横田コミュニティセンター 1階青年室
人権問題ではないかとお困りの方は無料でご相談に応じます。
秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

日本最高レベルのプレーを堪能

ホッケー日本リーグ開催

ホッケー日本リーグ男子第二節が四月十八日、十九日の両日、三成公園ホッケー場で開催されました。(奥出雲町でのリーグ開催は四年連続)昨季八位の地元セルリオ島根は十九日、全日本社会人五連覇中で、日本代表選手を多数輩出している強豪名古屋フラーテルホッケーチームと対戦し、一対三で惜しくも敗れました。



名古屋フラーテル・三澤孝康選手(横田高出身)から指導を受ける児童ら

試合は、社会人らしい、攻守の切り替えの早い展開となる中、セルリオは中盤でゴールを奪い、地元の声援に応えました。



ドリブルで攻め上がるセルリオ島根・元山選手(左)

国内トップ選手から指導

十八日には、キッズスクールが開催され、町内の小中学生約百五十人が参加しました。セルリオのメンバーや名古屋フラーテル所属の横田高校出身、日本代表候補にも選ばれた福代勇太選手、三澤孝康選手などからドリブルやパス、シュートの仕方などを、ゲーム形式での練習など直接指導を受けました。子供たちは真剣な表情で練習に取り組み、あこがれの選手たちと交流を深めました。

新着図書案内

仁多カルプラ図書館

- 大人向けの本
「砂冥宮」 内田康夫 著
「ステップ」 重松 清 著
「こどものかわいいおべんとう」 フルタニマサエ 著
「大不況の中で生き残る家計」 大竹のり子 著
「話し方でゼツタイ恥をかかない本」 福田 健 著
- 子ども向けの本
「IQ探偵ムーあの子は行方不明」 深沢美潮 作
「ニック・シャドウの真夜中の図書館」 ニック・シャドウ 著
「そらまめくとながいがいながい」 なかやみわ 作
「どうするどうするあなのなか」 きむらゆういち 作
「でんぐり でんぐり」 くるいけん 作

6月の休館日
月曜日、30日

横田コミセン図書館

- 大人向けの本
「北前船始末」 築山 桂 著
「黒と赤の潮流」 福田和代 著
「会社はこうして潰れていく」 帝国データバンク 著
「『暮らしのまんなか』からはじめるインテリア」 地球丸 著
「知らなきや損する新農家の税金」 鈴木 武 著
- 子ども向けの本
「じいじのさくら山」 松成真理子 作
「サラダでげんき」 角野栄子 作
「科学探偵ビーカース」 夏 緑 著
「こども論語塾」 安岡定子 著
「スポーツ年鑑 2009」 ポプラ社 編

6月の休館日
日曜日、月曜日、30日